

絵画と壁画、ステンドグラス…

祈りの空間完成

行橋カトリック教会

スペインで創作活動を力求められ快諾した。続ける画家九十九伸一さん。〇四年に「天使の時空」(五)が、故郷の行橋市門樋町にある行橋カトリック教会の内装に取り組んで五年、二十九日に最後のステンドグラスを組み込み完成させた。

九十九さんは二〇〇三年十二月、山元眞神父(五)に会い、教会創立五十周年の聖堂改装への協

や内扉のステンドグラス入り口上部の壁画



窓枠にはめ込まれたステンドグラスと上部は壁画「自然の恵み」。改装を終えた山元眞神父(左)と九十九伸一さん

九十九さん 5年かけ

活動家としての画家
出身のスペイン地

ス、真ちゅう製の聖水盤に続き、仕上げは二十九日に聖堂両側六カ所の窓に計三十六枚のステンドグラスを張り付けて五年にわたった改装を終えた。

このステンドグラスは一枚が横約二十センチ、縦約十八センチで黄色でも濃淡があり、三十六枚すべて色相が異なるつくりで「天使の空」と名付けられた。

念願の改装を終えた山元神父は「少しずつ積み重ねて改装を終え、祈りの空間が完成した」と感慨深げ。無償で取り組んだ九十九さんは「絵画から壁画、ステンドグラスとすべてがつながっている。聖堂の中心に立つと

感じるものがあるでしょう」と話した。

聖堂は午前九時〜午後四時の間、鑑賞できるが、

教会に事前連絡が必要。

電話は0930(22)

0805。